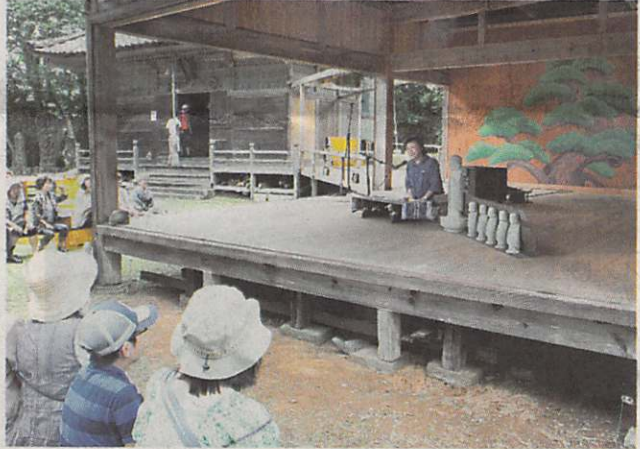


# 伝統文化に耳傾け

読み聞かせ全国団体が企画

## 気比神社能舞台で昔語り



虫の音と風を感じながら参加者が耳を傾けた昔語り＝31日、佐渡市

佐渡市椿尾の気比神社能舞台で31日、佐渡の昔語りが披露された。山あいのかやぶき屋根の能舞台で、参加した約100人が語り手の話に耳を傾けた。

読み聞かせ活動を行う全国団体「この本だいです」の会（千葉県）が、29～31日に同市で開いた全国集会「子どもの本と文化の夏の集い」の一環で企画。佐渡の伝統文化に触れてもらおうと、昨年修復が行われた能舞台が会場となった。

能舞台では、同市小川の菊地美知枝さん（74）が、外海府に伝わる民話や石工が多かった椿尾ならではの言い伝えなどを紹介。参加者はセミの鳴き声が響く中、佐渡の昔話に触れた。その後、海が見渡せる

山の斜面に多くの石仏が並ぶ椿尾の岩本山なども見学した。さいたま市から参加した多田恵美子さん（64）は「都会の人には、すごくよい雰囲気。素朴でも昔の営みが伝わる伝統が感じられ、これこそ子どもたちに体験してほしい」と話した。

会場では、集落住民でつくる「椿尾能楽石工の里の会」が参加者を迎え、地元の婦人部がサザエこ

飯などを昼食に振る舞った。婦人部の安藤裕子さん（80）は「喜んで帰ってくれたよつてよかった」とほほ笑んだ。

H23.8.2 新潟時報

な 照 引 学 開